

がれき処理の要望が多く、スコップやヘルメットなどの物品が用意されました



全国から復興支援のため多くのボランティアが集まりました

災害とボランティア

平成19年3月25日(日)
午前9時42分
マグニチュード6.9
最大震度6強 能登半島地震

地震発生から3日後、石川県では「現地災害ボランティアセンター」を設置し、全国からのボランティアの受け入れを開始しました。

この災害ボランティアセンターでは、普段からボランティアと関わりがある社会福祉協議会が、被災者からの要望とボラン

ティアとを結びつける「コーディネート」という重要な役目を担っていました。

津市社会福祉協議会の職員も、復興支援のため「輪島市災害ボランティアセンター門前」の運営に参加し、災害に備えて、コーディネートに必要なノウハウを实践で学ぶことができました。

災害が起きれば、まず自分・家族の安全を確認します。それから、ご近所のお年寄りやケガ人などに声をかけ、みんなで助け合います。

今回は、これまでの多くの災害の経験から、日ごろのご近所付き合いと防災への備えが、まちを災害から守る『地域力』であるということに改めて認識しました。

地域力でまちを守る

一志・白山・美杉地域の高齢者などの相談窓口となる

「津一志地域包括支援センター」

を開設しました。

【地域】	【住所】	【電話番号】
白山地域	津市白山町川口892	262-7295
一志地域	津市一志町井関1792	295-0066
美杉地域	津市美杉町奥津929	274-0023

※お気軽に
ご相談ください。



白山地域 (白山保健センター内)



一志地域 (とことめの里一志内)



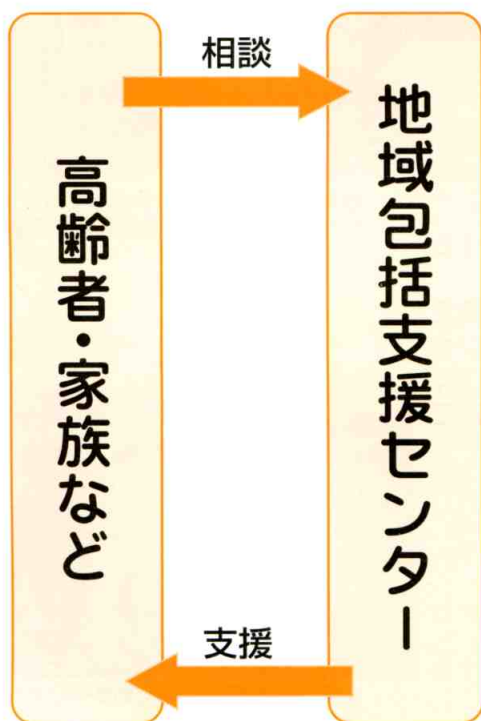
美杉地域 (美杉高齢者生活福祉センター内)

地域包括支援センターとは

「地域包括支援センター」とは、高齢者や家族、地域のみなさんが住みなれた地域で安心して生活ができるように、福祉に関する悩みや相談を受け、さまざまな支援をしていく機関です。



地域包括支援センターの主な活動



【総合相談・支援事業】

高齢者の介護予防や介護、支援に対して総合的な相談を行います。必要に応じて関連サービスの紹介なども行います。

【権利擁護・虐待防止事業】

高齢者で日常生活での福祉サービスの利用や金銭管理に不安がある方（判断能力が不十分な方など）に対して、必要な相談、支援を行います。また、虐待の防止や早期発見、その他の必要な支援を行います。

【介護予防ケアマネジメント事業】

要支援や要介護状態に該当しない方の介護予防サービスの相談を受けたり、計画を作成します。

【包括的・継続的ケアマネジメント】

困難事例に関するケアマネージャーへの指導・助言やネットワークづくりなどを行います。

